

根上校下婦人会とのタウンミーティング

日 時 令和5年8月28日（月）19:00～20:30

会 場 根上学習センター 講堂

参加人数 36名

1. 開 会

2. 根上校下婦人会長挨拶

3. 市長挨拶

4. 市長市政報告

【市長】

〇はじめに

テーマは「能美市でののみみ過ごそう」です。

これまでの能美市の予算編成は、いろんな事業・施策が全て移住・定住の促進に繋がるようにしようと進めています。初めて今日聞く方もいらっしゃるかもしれませんので、どうして移住・定住の促進につなげるかをご説明しますと、自治体が発展、繁栄をしているかをいろんな数値で見ることができると思うんですけど、私は、人口が増えているということが一番分かりやすい数値じゃないかということで移住・定住の促進をしていこうということでもあります。人口を増やすというのは大きく分けて2つの要素があって、一つは自然増、もう一つは社会増です。お亡くなりになる人よりも生まれてくる赤ちゃんが多いと自然増、引っ越して行かれる人よりも引っ越して来られる人が多いと社会増です。

今、能美市は少し人口が減り出してきています。それは大きく自然減だからなんです。社会増は増になります。引っ越してくる人は多いんですけども、最近生まれてくる赤ちゃんが特に少なくなってきていて自然減になっていて、自然減と社会増のバランスから今ちょっとだけ人口が減っているという状態なんです。移住・定住を促進させていこうということではいろんなことをやっているということです。

○これまでの取り組みについて

今日は、新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、その間、能美市はどんなことをやってきたのか、どうだったのかを振り返りながら話を進めていきたいと思います。

まず、感染が拡大した2020年2月、市制誕生15周年を迎えていろんなイベントを考えていたんですけれども、残念ながら中止をせざるを得なかった。そして感染症が拡大をし、いろんな施策もやってきている中、4月には国全体で臨時休校になってしまいました。特に新1年生、せっかく新しい学校に入ったのに勉強が手につかないまま夏休みを迎えたという、大変厳しい状況でもありました。

その間、能美市はSDGs未来都市に認定をしていただきました。本来であれば総理官邸に行って総理大臣から認定証をもらえるはずだったんですけれども、中止になっていました。

2021年になりまして、市長選と、それから10月には市議会議員の選挙もありました。

そして、昨年8月4日、過去に経験したことのない大雨に見舞われました。1時間当たり86ミリ、全く前が見えない状態です。被害は山間部に多かったか印象がありますけれども、実は根上地区でも福島町に冠水被害があり、JR能美根上駅にもなかなか行きづらいという状態でした。土石流も発生し、七ツ滝、遣水観音堂、蟹淵も被害を受け、七ツ滝と遣水観音はもう復旧をしておりますけれども、蟹淵はいまだに大変な状態で、復旧させるのに相当の費用と年数がかかりそうです。今はここをどうやって復旧させようかということで大変悩んでいる状況でもあります。

4年間にいろんなイベントも開催しました。全日本競歩の大会、オリンピックに出場する選手を選考する必要もあることから開催しました。能美根上駅の5周年記念があり、ら現代美術展の巡回展も、能美市で2020年8月に初めて開催しました。そして子どもたちに修学旅行が中止になる、遠足が中止になる、いろんなイベントが中止になるということで、何か思い出に残るようなことをしてあげたいということで、タイムカプセルに思い出の物を入れてみんなで埋めた、あるいは記念の木をみんなで植えたということもやりました。

そして、何か皆さんの気分を癒やす、あるいは発散させるようなことができないかと、10月に3か所で一斉に花火を上げました。福島町辺りからは市内で3か所同時に上がった風景が見れたと聞いております。

また、オリンピックの聖火リレーが中止になったこともあって、聖火だけでも皆さんに

見てもらいたいということから、聖火の巡回展が行われました。翌年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。

これも市民の皆さんに少しでも何か楽しんでもらいたいということから、能美市でいろんなイベントをやって安全・安心に市内で楽しんでもらおうということで、「秋はゆっくり能美市で過ごそう。」キャンペーンということから、いろんなイベントをしたり施設を開放したりしました。

オリンピックが終わった後に、オリンピック・パラリンピックで使った表彰台をプレゼントしてもらいました。オリンピックの委員会が国民の皆さんに何か還元できることがないかと、表彰台を希望する自治体にプレゼントするというイベントがあり、能美市が手を挙げたところ、フルセットでもらいました。

SDGs 未来都市に選定されたことから、市民の皆さんにSDGs に一緒に取り組んでいってもらいたいということでパートナーシップ制度をつくりました。パートナーになった事業所さんですとか市民の皆さんには、九谷焼製の証章をお渡ししました。

市には観光大使・特使という制度があるんですけども、観光大使にミュージシャンがたくさんいらっしゃって、そんな方だけを集めたコンサートをやりました。これも大変好評で、今年は9月30日に開催する予定です。

2022年12月には、ここに駅ができて110周年を迎えたということでシンポジウム等を行いました。成人年齢が18歳に下げられたということで、いろいろ検討をした結果18歳だとまだ高校3年生だということから、やはり20歳になったときにお祝いをしてあげるほうがいいんじゃないかと、成人式を「二十歳のつどい」という名称に変えて開催をしました。

今年の九谷茶碗まつり、5月8日に新型コロナが5類になったんですけども、その前に開催をして、大変多くの人でにぎわいました。これまで九谷陶芸村の一会場だったんですけども、感染症対策や様々な理由から大きく3会場に分けて開催をすることになり、大変多くの皆さんにご来場をいただきました。

北陸新幹線県内全線開業に向けて、能美市で足りないこと、知名度、認知度。私が東京に陳情に行く、名刺を出す、「のうみ市さんの市長さんですね」と。「のみし」ってなかなか呼んでもらえない。やはり能美市という知名度、認知度をさらに高めていくためには、能美市の名誉観光大使松井秀喜さんの力を借りようということでありました。

一番最初にやっていただいたのはアフレコです。松井さんの出演するアニメを作って、

そこに松井さん自らが声を吹き込んでくれました。松井さんが生まれて初めてアフレコを体験したということで全国ニュースに何回も取り上げられ、今も白山イオンの映画を上映する前の時間にそのビデオが流れています。能美市のホームページからも見れます。

松井さんにはもう一つお願いをして、パネルのお披露目式に出てくれないかってお願いをしたら快く返事してくれました。当日、このパネルの後ろに松井さんが隠れてて、除幕をしたら、後ろからご本人が出てきてみんなでびっくりするというのをやって。それをビデオで撮ってあって、ホームページで見れますので、ぜひ見ていただければと思います。

アニメの松井さんのアフレコも、松井さんが「能美市でののみみ過ごそう」と言ってる。このパネルにも「能美市でののみみ過ごそう」ということで、ぜひ皆さん、「能美市でののみみ過ごそう」をインプットしていただいて、いろんなところで使ってもらえればなと思います。

そして、シナモロールを応援大使に迎えました。皆さんはシナモロールをご存じだと思います。5月21日に応援大使就任イベントをやりました。もうすごい人で、見ている子どもたちとお母さんたちの目の色が違う。それから手の振り方だとか拍手の仕方が違うんです。ひしひしと感じました。やっぱり応援大使に就任してもらってよかったなと思っていて、今から応援大使にどんなことをしてもらおうかということをいろいろと考えていて、もし皆さんからもいろんなアイデアがあればぜひお聞きしたいと思います。

女性に関わる話からすると、能美の女組（めぐみ）という消防団を発足しました。実際に現場に行って火を消すというわけではなくて、広報隊で応援をすることか、消防団の役割を市民の皆さんに紹介をするとか、ぜひ消防団に入りませんかというような、そういうPR活動を主にやってくれています。

これは去年の能ん美りカフェトークのシーンです。これまでタウンミーティングというのは、30人とか50人とか多くの皆さんが集うのをタウンミーティングとしてやってきてたんですけど、やはり新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って少人数で話しする機会、それからテーマを絞っていろいろと深掘りした意見交換をする必要もあるだろうということから、能ん美りカフェトークというのを昨年度から始めさせていただいています。

給食費の無償化も、6月の議会で承認をいただきました。いろんなご要望があったり、原材料費の高騰等々で、まず9月から中学生を対象に無償化をし、3学期から小学生も対

象に無償化をしていきます。今、令和5年度ですけれども、6年度からも引き続き無償化をしていくためにどうやって財源を確保していこうか調整を始めている状況であります。

○スマートインクルーシブシティについて

デジタル技術をどんどん導入しようと、今、能美市はデジタル田園都市国家構想交付金というのをもらって、能美スマートインクルーシブシティというのをやっています。なかなか耳慣れない言葉かもしれませんが、スマートというのはデジタル、インクルーシブというのは誰一人取り残さない、いわゆる地域共生社会、健常な人も障がいをお持ちの方も高齢者もお子さんも外国人も、能美市に住んでる人がみんな安心・安全に快適に暮らしていってもらうというのがスマートインクルーシブシティ、それをデジタルの力を使ってやろうということなんです。

特に力を入れてやっていこうというのが、デジタル公民館。公民館でいろんなことをできるようにしましょう。例えばeスポーツとか、公民館に行けばWi-Fiを使えるようにしましょう。健康相談、オンライン診療をできるようにしましょうとか、将来的には、ネットから注文をすればドローンが公民館まで運んでくれるような、そんなまちにできないかということを少しずつ少しずつやり出しています。

○施設整備について

それから、4年間に整備した施設、インフラということで、レンタル自転車があるんです。能美ふるさとミュージアムに行くと4台あって、電動付なんですけど、ぜひ利用してほしいなと思います。福岡小学校エリアをキッズゾーンにしました。浜小学校前に信号機つけました。ホテルが根上スマートインターチェンジのそばにできました。で、皆さんからご要望で「インターチェンジ下りても何も標識も看板もない。何か作って」って言われてすぐ作りました。

それから、インターチェンジのそばに、すしべんが来てくれました。スーパーホテルというホテルはリピーターが多い、それから長期滞在が多いということから、もってこいの施設が来てくれて、しかも、周辺の企業さんに勤める皆さんの食べるところがないということを知っていて、それから地元の方も利用されているということも知っていて、よかったと思っています。

保育園の民営化にも取り組みました。これまで15の保育園が全部公営だった。幼児教育を受けたいという市民の要望があって、福島こども園を民営化させ、今後は湯野保育園と緑が丘保育園も民営化をしていきます。福島こども園は、ビオトープという自然と触れ合う場所があったり、園庭がすごく広いということから、通ってらっしゃる皆さんからは大変喜んでいただいております。

合葬墓を山口町に造りました。かなり遠方からいらっしゃる方の交通の利便性を考えて、能美根上から近い、インターチェンジから近い、空港からも近い、そして新幹線駅からも近いということの交通の利便性を考慮して、山口町に合葬墓を造りました。

能美暮らしの家ということで、移住・定住を進めるに当たって、例えば働き口や住む場所がどこにあるのか尋ねたい、教えてもらいたいというような需要に応じて、そういった方は車がなくて電車とかバスを利用して来るだろうということで大成町に造りました。

福島グランパークには今多くの企業が進出をしてくれていて、約700名の雇用先が生まれました。その前の道路、手取川に新しい橋ができ加賀海浜産業道路として、小松製作所の栗津工場から金沢港まで直結する道で、周辺は今後にもぎわってくるだろうなという思いをしています。

北陸鉄道能美線の跡地、健康ロードとして大変親しまれていますけれども、桜の根が隆起してぼこぼこになっていたり、通学路でありながら街灯がないということから、約3年間かけて整備をしていこうと今始まっています。完成年度を2025年の秋にしてあります。2025年というのは、能美電が開通して100年を迎える、廃線をして45年を迎える、能美市制が誕生して丸20周年を迎えるという記念すべき年です。それからもう一つは、全部で16kmあるものですからすぐにできないことから、年数をかけていろいろ整備していこうということです。駅があったところには、ここに駅がありましたよというのが分かるような看板をつけたり、看板にはQRコードを貼り付けて、周辺にどんな施設があるかだとか、そこから歩いていくとどんなウォーキングコースがあるか分かるようにしていこうと計画しています。

白寿会館をリニューアルします。それから能美根上駅の前にワーキングスペース、いわゆる大学生だとか高校生が勉強できる場所、ウェブでお仕事ができる場所を造ります。それからパークゴルフ場のクラブハウスを新しくします。それから、近くに公園も造ります。

給食センターも造ります。これは、市内には11の小中学校があるんですけども、面積

比で築50年以上が全体の35%を占める。学校を新しくすればいいんですけども、それには相当のお金もかかるということから、まず児童生徒に安心・安全でおいしい給食を食べてもらおうと、自校式の給食から給食センターの給食に変えます。実は辰口校下は既に給食センターから給食を持って行ってました。根上地区と寺井地区は自校式だったんですけども、今度から給食センターに変えます。

それから、翠ヶ丘の運動公園、ここもリニューアルをします。民間の力を借りていろんなスポーツが楽しめる場所にしたいと思ってまして、ここも何か皆さんからアイデアがあれば、ぜひ教えていただければと思います。

〇おわりに

皆さん、能美LINE既に登録していただけてますね。災害があったときに防災行政無線だけでは必要な情報が届けられない、メールで流そう、LINEにしましょう。そこには、いわゆる危機管理情報だけでなく、能美市の様々な情報、お得な情報も全て盛り込んだ能美LINE、Nomimailというのを既に配信をしております。ぜひお友達申請をしていただければと思います。

5. 婦人会提言

提言1

【提言者】 近年、全国各地で集中豪雨による災害があつて、昨年は能美市でも被害がありました。実際に我が家の前は膝下ぐらいまで水がたまって、とても不安な一夜を明かしました。福岡小校区の避難場所である福岡小も、隣の根上総合文化会館も、2階以上利用可で避難場所となっていました。

昨年度の豪雨の際、避難を考えたときに、本当にそこに避難していいのか不安になりました。今後も昨年同様か、それ以上の災害が起きてもおかしくないという近年の状況なので、例えば手取川が氾濫したとしても安全に避難できるような避難場所を再検討とか準備していただいて、市民が安全に安心して避難できる場所をつくってほしいと思っています。

また、集中豪雨になってもあふれないように、まちの小さな用水もちょっと大きく造り直したりとか、浸水しやすい場所は特に排水施設を整えていただいたり、市民の命の安全のために税金をぜひ使ってほしいと思います。よろしくお願いします。

【市長】 昨年の大雨の状況は、皆さんも見ていただいたとおりでして、この根上地区でもいろんな場所で浸水被害が見受けられました。いろんな対策を取っていて、たくさんご質問をいただいたので、まず避難所の話からしたいと思います。

市内の避難所、根上総合文化会館を避難所として指定してありましたが、周辺が冠水して行けなかったという状況を見て、避難所の見直しを始めています。長くなってしまっているので、簡単に2つ3つだけ申し上げると、各家庭にお配りしているハザードマップというのがあって、1,000年に一度クラスの大雨が降ったときに市内のどのエリアがどれだけの冠水をするかというのが出ていて、北陸本線の西側はほとんど水がつかないというのが見受けられるんです。手取川が万々が一氾濫をした場合に、そこにある避難所に行っていただけだと思います。具体的に言うと、浜小学校のそばの体育館、冷暖房の設備も整えてありますし、それだけの大雨の被害となれば中学校の2階とか3階等々も対象となるんじゃないかなと思います。

そして、福島グランパークに進出をさせていただいている企業にも避難所として使わせてもらえるように締結を始めていまして、今後も順次拡大をし避難所を全て見直しをしていく予定で、ある程度終えたときにもう1回新しいガイドブックをつくって市民の皆さんに周知をしていく予定であります。

治水対策もいろいろやっています、ご当地に関係あることを言えば西川が氾濫をしました。西川が氾濫した理由というのは2つあって、一つは内水被害、要は山間部を流れてきた水、もう一つは手取川の水がバックウォーターした。だから流れなかったということで、このバックウォーター現象というのが前々から予想されていて、西川、熊田川が手取川に入るところに樋門を造ろうということで、これも設計が始まっています。それから、西川の流域面積を広げようということで、これはもう工事が始まりつつあります。

それから、内水被害をどうするかなんですけれども、この辺りの用水というのは宮竹用水がいろいろ走っている。大きな雨が降るときに手取川から水を取るのをやめましょうと、そうすることによって宮竹用水を用水じゃなくて排水機能として使える、そんな水路に変えましょう、としたことによって、相当大的な効果が出てくるんじゃないかなと思います。

また、この山間部から流れてくる水を別の手段で、平野部に流れないようにできないかといういろんな検討も始めていますし、もう一つ、田んぼダムといいまして、田んぼに水をた

めてもらうことを農業者といろいろと協力をしてもらいながらできないかも考えていて、まさに避難所対策と治水対策はおっしゃるとおりしっかりやっていきますし、また、市民の皆さんにも分かっていただけるように、安心・安全に、それから避難していただけるようにも努めていきたいと、そんな思いをしています。

提言 2

【提言者】 自然と触れ合う場所を造ってほしいです。

フラワーセンターの取壊し工事が終わりました。今までたくさんの景色、植物を見せてもらい、大変感謝しております。昔から芝生は子どもたちの遊び場であり、保育園の運動会にも使わせていただきました。春になると満開の桜の木と白山の絶景に心が豊かになった日々を思い出します。今は愛犬との散歩コースの一つです。もうなくなってしまうのはとても寂しいです。

今後、自然と触れ合う場所を造る予定はありますか。便利な世の中ではありますが、ぜひ心が豊かになる場所を造ってほしいと願っております。

【市長】 造る予定はあります。考えてます。どんなスタイルがいいのかを今考えています。フラワーセンターと言っていて花を育ててはいたんですけど、すごい老朽化をしていたり、それから、実際には皆さんに花を提供する上ではもっと別の手段のほうが効率もいいんじゃないかということから、それと建物も相当古かったということなので今更地にしましたけど、まさに周辺の住民の皆さんのご希望や福岡小学校に通う皆さんのお声も聞きながら考えたいなと思ってます。

あの辺公園ないんですね。福岡小学校エリアに本当公園がないというのは把握をしていて、どんな形のいいのかなということも考えながら、また、こんなことをしたらいいという様な具体的なご提案があれば教えてください。

6. フリートーク

質問 1

【参加者】 福岡校下等で公園が不足していて、フラワーセンター近所の住民の方とかのご要望があったらと市長からあったと思うが、いつまで猶予というか、希望を聞いてもらえる期限はないか。

【市長】 財源の問題もありますので、しばらくは大丈夫だと思う。

質問 2

【参加者】 引っ越してきてくれる人が増えることが大切だというのは本当に思う。私が何で能美市を選んだかといったら、子育てしやすいというのを10年前ぐらいに聞いて、それに引かれて来た。例えば治水のことなどみんな関心度が高いことだと思うので、こんなふうにしてますよというのを、松井さんやシナモロールとかにアピールしてもらおうと、行こうかなと思う人が増えるかなと思う。

公園も、大きな公園は確かにないと思う。自分の子どもが小さいときは白山市の若宮公園のような大きな公園に行った。暑くても入れるプールや、暑くても寒くても遊べる、子どもたちを伸び伸び動かしてあげられるような施設があると良い、それを上手くアピールしていくと人が集まってくると思う。

【市長】 施設の話からですけど、市内で大きな公園といえば丘陵公園、ほかには動物園、フィッシュランド、フィールドアスレチックも楽しめる場所もあり、これだけの面積のところいろんな施設がある自治体はそうないんじゃないかと思う。

何が今ないかと考えると、プールだと思っている。熱中症警戒アラートが出ると小学校のプールが使えないから室内プールかとは思いますが、やはり財源の問題がある。必要な施設はたくさんあり、直していかなければならない施設もたくさんある。学校も築50年以上が35%、順次直していかなければならない。どこからどの順番で直すか、それからどんな施設をどの順番で建てるか悩んでいて、必要に応じて、それから皆さんのご要望にお応えできるように順次頑張ってやっていきたいと思う。

質問 3

【参加者】 最近本当に暑くて、年々暑くなっているかと思う。小中学生が亡くなったニュース等もあるが、暑さ対策で能美市として考えていることはあるか。

【市長】 警戒をしてもらえよう、防災行政無線やLINE等々でお知らせをしたり、

消防車が巡回をしたりしながら、注意喚起を特に重点的にやっている。特に消防本部では行政無線だけでなく、市民に分かりやすく伝えられるよう様々な工夫もしてもらっている。

クールシェアといって、公共施設等の冷房が備えられたところをもっと多く利用してもらえるよう、PRをしながら、本当の暑いので、皆さんにこの暑さを理解してもらいたい思いで、特に注意喚起をしたり公共施設の利用を勧めていることが一番今やっていることです。

質問 4

【参加者】 この夏、ちょっとごみを少なくしたい、取り組みたいと思って、ごみ処理機を買おうかと思った。ごみ処理機購入の助成金制度が石川県で能美市と宝達志水町だけがない。ぜひ能美市も参加していただきたいと思う。

【市長】 昔はあったんですけど、ほぼ利用されなくて取りやめたんです。例えば、性能がいい物を市で10台ぐらい買って、希望する人に使ってもらおうかとも考えた。ただ、人が使った物を使うのは嫌だろうとか、誰が掃除をするのかという事もある。そうすると購入したい人にある程度の金額を補助するのがいいのかと思ったんですけど、幾らぐらいのを買おうと思いました？

【参加者】 私が見ていたのは、臭いもない、小さくて、入れるとからからに乾かして、ごみを小さくしてくれて、それをまた終わったら土に戻すタイプのものでした。2, 3万、4万以下だったと思います。

【市長】 検討します。

【参加者】 ぜひ前向きに検討いただきたいと思います。

質問 5

【参加者】 娘が能美市に来てくれることになり、去年の10月は小松に住んでいたんで、4月から保育園に入れようと申し込んだら「小松の住民は駄目ですよ」と言われ、「5月に引っ越してくるのならば、5月にもう1回申し込んでください。空いてたら入れますよ」と言われたそうなんです。

5月に来て申し込んだら「満員なので来年まで待ってください」と言われた。5月から来年の3月いっぱいどうやって子どもを見ればいいのか。10月に申し込んだ時点で5月に

入る事が分かっていれば枠を設けてくれることはできないかと思う。

この前も「家の近くでなくても、根上の保育園のどこでもいいから入れませんか」と聞いたら、「満員で入れません」と言われた。空いたら声かけてくださいと言ったら、「たくさん順番ついているの空きませんよ。また10月に申し込んで、来年まで待ってください」と言われた。

能美市に移住してきて保育園に入れなかったら、移住してきた人、遠くから来た人って本当に大変だと思う。そういう人らが切り捨てられとる今の状況はどうにかならないのか。

【市長】 まず、下の年代の枠がやっぱり、狭いことは狭いけど、私の把握の中では市内のどこかの保育園には入れると思う。

【参加者】 市内もどこかには入れるかもしれない。家から遠いところなら。

【市長】 だから能美市としては見捨ててはいない、どこか入れるはず。保育園によって一杯だったのかもしれない。

【参加者】 全部一杯だった。。

【市長】 能美市内のどこかは空いていたはずだと思う。

【参加者】 そうだとは思いますが、ちょっとつらいです。

【市長】 なかなか枠を空けられないというか、保育園の先生もその都度あちらの保育園、こちらの保育園に移動というわけにもいかない。何歳になったら先生が何人必要というルールも決まっていて、1人増えるから、じゃあそこに先生1人持ってくるというわけにはいかない。

【参加者】 それならば、引っ越し前に聞いたときに「もう無理やよ」って言うてくれれば能美市に来なかったかもしれない。

【市長】 問い合わせた時には空いていたのかもしれない。5月、4月のときは空いていたかもしれないし、その後に誰か入ってきて一杯だという話になったのかも知れない。

【参加者】 「一杯だし、順番ついでる人もたくさんいるから順番回ってこないよ」と私は言われている、能美市にせっかく移住してきても困っている人がいっぱいいるのかと思う。

【市長】 能美市内ではどこかの保育園に入れたはず。私の把握では能美市内でどこか入れるぐらいの余裕があるはず。

【参加者】 能美市に来て、途中からであれば入れない可能性が高いということを何か

いってもらえば。

【市長】 アナウンスの仕方があまりよくなかったのかも知れないが、枠自体は市内では全く受け入れられないということはなかったと把握してます。年齢が低いほど枠が少ない。1人に対する先生の人数が決まっているので、例えば5人に対して1人先生を置かないといけない。6人になったら2人置かないといけない。だから全市内の保育園で調整をしている。例えば5人しか受け入れられないところに1人入ってきてもらっても、「うちの保育園では受けられませんので、すみませんけど、こちらの保育園なら空いてますよ」と言えばよかったのかもしれない、もしかしてそこまで言えなかったのかもしれない。

【参加者】 言われていない。根上でお願いしていますと言っているのです。

【参加者2】 能美市全体で、見える化じゃないけれども、移住してきたときに保育園の枠は気になる場所だと思う、今根上に引っ越したとしてもすぐには保育園の空きはないですという現状が、来る前に分かるようにできたらいいと思います。

【市長】 問合せをしたときに正確にお伝えできるように改善していきます。ホームページ上でそこまで出せるかは、いろんな問題があるかもしれないのですぐにお答えできないですけど、問い合わせをされたらしっかり答えるようにはなっているはずです。

質問6

【参加者】 道林町のパークゴルフ場、クラブハウスを変えとおっしゃられたんですけどその間パークゴルフはできないということですか。

【市長】 新設するので、できるはずですよ。造った後に壊すはずなので。

【参加者】 公園は青年の家の跡地ですか。

【市長】 体育館が二つあるのは残して、その手前に公園ができるというイメージですね。

【参加者】 体育館はそのままですか。

【市長】 パークゴルフの大会に出た人たちの、着替えたり物を置いたりする為にクラブハウスのサポート役みたいな感じで使う予定です。

【参加者】 公民館前のテニスコートはどうなりますか。

【市長】 まだ最終的にどうするかは決まっていないが、今は使用を中止している。駐車場にするのか、あるいはそのほかの活用をするのか、今検討中です。

質問 7

【参加者】 小学生と中学生の子どもがいるので給食費の無償化はすごくありがたいと思うんです。ただ、給食センターができることで、今まで温かい給食が食べれていたと思うんですが、配送ってお弁当みたいなイメージなんですけれど、どんな感じなんですか。

【市長】 給食センターで作って、いわゆる保温ポットみたいな容器に入れて運ぶんです。私も食べたんですけど、温かいしおいしい。やっぱりたくさん作るとおいしいのかもしれない。安心してください、温かくておいしい給食が食べられると思います。

【参加者】 子どもの数が減っているというか、吉原町も小学生が4人しかいない。でもなかなか増えないと思うんですけど、吉原町周辺に人が増えるよう住宅地を作ることはなかなか難しいですか。

【市長】 すごくあのあたりは便利になるんじゃないかと思うんです。働く場所はある、インターチェンジも近い、橋も架かる。宅地造成するというのは、田んぼを宅地にするとはなかなか難しいんです。法律があって、お米をちゃんと育てないといけないということがある。あの辺周辺で宅地にできる場所がないか一生懸命探しているんです。吉原町の皆さんにも協力をしていただきながら、本当に1軒でも2軒でも宅地ができて人口が増えるようにこちらもいろいろ仕掛けていきたいと思うので、ぜひ皆さんも「住むんなら吉原がいいよ」と宣伝してほしいんです。

【参加者】 結婚する人がなかなか少ないのかと思ったりもするんですけど、市として何か婚活イベントをされる予定はないですか。

【市長】 やっているんです。婚活みたいなイベントをやったりもしているんですけど、なかなか上手くいかないですね。さすがに私から「どんどん結婚してね」と言うわけにもいかず、本当にご縁があればということで、そういう機会は一生懸命設けるようにしていますし、能美市内で結婚して家を建てたときに県内最大規模の支援をするようなメニューですとか、デジタル技術を使っていろんな応援をしていく中で、夜中にお子さんの調子が悪くなったときにメール使って問合せするような仕組みもつくってるんです。能美市に來れば子育てもしやすい、保育園も入れるということをしなが、能美市にどんどん住んでもらえるようにしたいと思いますので、宅地の件は考えます。

質問 8

【参加者】 白寿会館、外観とか足場組んで工事してる真っ最中だと思うんですけど、あそこに、病児保育でしたか、熱がある子でも預けられる施設があると思うんですけど、利用率はどんな感じですか。お子さん連れの人が入りしとるとき、日中、私もいないからかもしれないけど、あまり見かけることもないので。能美市で1か所だけだとしたら、そういう施設があることも周知されているか、ご存じだったら教えてほしいです。

【市長】 結構利用されてます。ああいった施設があるというのは、例えばお子さんの健康診断のときに周知しています。「コドモン」というアプリで、今児童生徒にはメールで全部行くような仕組みになっていて、そんなところで連絡するようにはなっているので、皆さん結構ご存じじゃないかと思うんです。

【参加者】 中はどんな感じになってるんですか。

【市長】 中は部屋が分かれていて、重症な人はそこで寝ていられるようになっているし、ちょっと元気になったらやっぱり遊びたい子もいる。そうすると、スタッフさんと何か簡単な遊びができる、そんな施設になっていますので、結構評判はいいです。芳珠病院のそばにもう一つあるんです。市内で2か所あります、病院がそばにないとフォローしてもらえないので病院のそばに置いてあります。

質問 9

【参加者】 公園に健康器具を設置されているのをドラマ等で見ると、健康推進という意味で、お年寄りとかやっぱり足腰も弱くなってきている。何かそういう器具を設置するのはどうですか。

【市長】 寺井町にかたかご広場というのがあるんです。あまり利用されていないかと思う。どれだけの人が利用するかだと思う。もしたくさんご要望があれば設置したいと思うが、私も使ってほしいと思うんだけど。

【参加者】 ジムに行ってお金出して使うのはちょっともったいないと思って。

【市長】 そう思って当時設置したんだけど、あまり利用されていない。よければ1回使ってみてください。北國銀行寺井支店の前にかたかご広場や、物見山の公園に行くと置いてありますので、1回見てもらえれば。

7. 閉 会